

中川小の「ゴール(詰め)」に向かう後期後半がスタート！

中川小学校の「まとめの1年」を締めくくる最後の後期後半が、「欠席0」でスタートしました。今日の冬休み明け集会では、3人の代表児童が、これまでのがんばりや冬休みの思い出、そして、後期後半の目標について発表しました。①中川小学校の最後の学校生活をどのように過ごすのか、②角館小学校との統合までの間に何をがんばるのか、③上級生として、どのようなことを心がけて中川小学校の締めくくりにするのかなど、中川小学校のゴールを目前にひかえた思いをしっかりと述べていました。3人の発表の共通点は、「残された期間の一日一日を大切にしたい。」ということでした。これは、発表した3人だけでなく、フロアのみならず共通の思いで耳を傾けていたようです。

卒業式までの6年生の登校日数は43日間、修了式までの1～5年生の登校日数は47日間です。また、2月9日の閉校式までは今日を含めて21日間です。この限られた日数の一日一日を大切に積み重ねていくために、何よりも大切なことは健康と安全です。この冬はこれまでのところは暖冬で、例年とはちがって校舎の周りにも積雪はほとんどありませんが、路面の凍結、今後の降雪など、油断はできません。インフルエンザの第二波がやっとなとも限りません。登下校時の安全、うがい・手洗いの励行、必要に応じたマスクの着用などを、これまで以上に心がけてほしいと思います。

また、限られた登校日数だからこそ、土日・祝日などの休日の有意義な過ごし方も大切になってきます。互いに声を掛け合い、みんなで「最高の学校生活」をつくることができるように働きかけていきたいと思えます。ご家庭でも、健康管理と安全のためのお声かけ等、どうぞよろしくお願い致します。

<「こんな後期後半に」・一部を抜粋しています>

- わたしの後期後半の目ひょうは2つあります。1つ目は、さん数のかけざん九九をかんぺきにおぼえることです。九九をかんぺきにおぼえて、3年生のさん数の勉強につなげたいです。2つ目は、手あらい・うがいをしっかりとがんばることです。つめの間などのこまかい部分までしっかりとあらいたしたいと思います。しっかりと手あらいをして、元気にすごしたいです。この2つのことをがんばって、中川小学校さいごの学校生活を2年生らしくすごしたいと思えます。
(2年 K.A)



- 4年生のうちががんばりたいことは、自分からいろいろなことにチャレンジすることです。それは、4・5年生の学級目標がレッツチャレンジだからです。自分ができないことにも進んでチャレンジしたいです。まずは、二重とびを5回とべるようになりたいです。もう1つは、自信をもって発表することです。もっとみんなのまえでもきんちょうせずと言えるようになりたいです。この2つを角小に行くまでに、できるようにがんばりたいです。
(4年 O.A)



- 私が後期になって力を入れていたことは2つあります。1つ目は、学習についてです。算数の時間は集中して問題に取り組み、自分の考えをしっかりとち、それを発表することができました。特に意識したことは、前の時間に学習したこととの違いやつながりをつかむことです。自分のノートを見返して考えたり、家庭学習で予習や復習に取り組んだりすることによって、それができるようになってきました。…もう1つは、自分以外の友達同士の様子に気を配ることです。自分が楽しく遊べていても、周りでけんかが起きていたり、面白くない思いをしている人がいたりしたら、今年の中川小は「最高の1年」にはならないと思えます。私ができることは、気付いたら声をかけてあげることくらいですが、これからも続けて、中川小のみんなが仲よく楽しく過ごせるようにしたいと考えています。残された一日一日を大切に過ごせるようがんばりたいです。そして、閉校式や卒業式を大成功させたいです。
(6年 T.M)



『中川小学校の有効活用』と「校舎の維持・管理」を！

～児童会代表が仙北市子ども議会で提言～

1月8日（水）には、仙北市役所田沢湖庁舎において、『私たちの力でつくる仙北市』というテーマで、仙北市子ども議会が行われました。仙北市長、仙北市教育長をはじめとする仙北市関係者の方々、市内の小中学校児童会・生徒会の代表者、各校の校長・担当教員等が議場に集まり、小さな議員のみなさんの提言に真剣に耳を傾けました。

各校からは、児童会や生徒会で取り組んでいることや総合的な学習の時間のこれまでの取組を基に、観光客の誘致を進めたり明るく元気な町作りを進めたりするための具体策が示されました。

中川小学校からは、児童会運営委員長のK.Rさん、学習委員長のS.Yさんが、学校代表として参加しました。今年度で144年の長い歴史の幕を閉じる本校からは、「中川小学校の再利用について」というテーマで、次のような提言をしました。



～中川小学校をきれいにして 仙北市のみなさんへ～
提案者：小林竜、佐々木夕

- ①はじめに、9月22日に行われた「三省まつり・閉校記念イベント」の様子をスライドで紹介。みんなで演目を楽しんだり、スライドショーを見ながら懐かしい思い出話に花を咲かせるなど、中川小学校は、中川地域のみなさんの「大切な集いの場」となっている。
- ②8月6日の「子どもサミット」では、仙北市に望むこととして「地域のふれ合いの場がほしい」という意見が複数あった。中川小学校をそのように活用してもらえたら、とても嬉しい。
- ③中川小は、家庭科室、図工室、理科室、なかよしホール、礼法室、体育館、グリーンパーク、遊具などの施設・設備が充実していて、スポーツイベントや〇〇教室など、いろいろな利用の仕方が考えられる。
- ④清掃などは自分たちでできるが、屋根のさびや校舎の傷みなどは自分たちではできないので、仙北市にお願いしたい。

これらのことを踏まえて、6年生は、「卒業前に、感謝の気持ちをどのようにして表すか。」ということについて話し合いました。その結果、上記の提言とも関連し、PTAの方々にご協力いただきたいことがあるそうです。2月18日（火）のPTAの全体会で子どもたちがご説明します。どうぞお楽しみに！



大曲仙北児童生徒新春書き初め展の結果

【硬筆の部（1・2年生）】

○金賞

A.Kさん W.Yさん O.Rさん

○銀賞

O.Nさん K.Kさん A.Hさん K.Aさん
T.Hさん

【半紙の部（3～6年）】

○金賞

H.Yさん T.Rさん H.Nさん
T.Mさん H.Kさん K.Rさん

○銀賞

K.Aさん W.Hさん A.Rさん I.Aさん
O.Aさん H.Sさん I.Aさん O.Sさん
T.Iさん T.Hさん S.Yさん T.Mさん

○銅賞

T.Sさん T.Sさん Y.Rさん T.Sさん



みんながんばりました！